

国語3年 「人工知能との未来」「人間と人工知能と創造性」 O.Y教諭

参考

文科省『初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン』令和5年7月

人間中心の発想で生成AIを使いこなしていくためにも、各教科等で学ぶ知識や文章を読み解く力、物事を批判的に考察する力、問題意識を常に持ち、問いを立て続けることや、その前提としての「学びに向かう力、人間性等」の涵養がこれまで以上に重要になる。

【授業の流れ】

- (1) 文章を比較しながら読む。
人工知能に消極的肯定の立場である将棋棋士の羽生善治氏と、人工知能に賛成の立場である人工知能研究者の松原仁氏を扱う。
- (2) 人工知能の普及により、社会はどのように変化するか。
プラス面とマイナス面でまとめる。



まずは個人で考察



ペアで意見交換

終始、和やかな雰囲気
で話し合いが進んでいく。



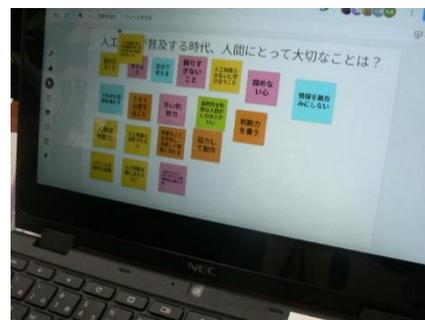
学級全体で共有

※時間配分が絶妙で、無駄がないため、
生徒の思考が中断されず深化していく。

- (3) 人工知能が普及する社会で、人間にとって大切なことは何か。



作文に入る前に、ペアでジャムボードを
活用して考えを整理する。



- (4) 200字～400字で、自分の意見をまとめる。

そのため、抵抗感なく、作文に取り掛か
ることを可能にしていた。

